TECHNICAL INFORMATION

# POLYUREA CLEAR NB　ポリウレアクリヤーNB

初版：2024/10/1
改訂：2024/12/10

## 標準仕様　Standard Application (Panel repair)

| No. | 工程 | 作業内容 | ポイント |
|---|---|---|---|
| 1 | ｶﾗｰﾍﾞｰｽ塗装 | ｶﾗｰﾍﾞｰｽの塗装は各塗料の塗装仕様に準ずる<br>◆ ﾊｲｱｰﾄNext<br>◆ ｱｸﾛﾍﾞｰｽ<br>◆ CRONOS HD<br>◆ AXUZ DRY<br>各塗料のｶﾗｰﾍﾞｰｽには必ず<br>強化剤・ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ剤を5%加えてください。 | |
| 2 | ｾｯﾃｨﾝｸﾞ | ｾｯﾃｨﾝｸﾞは各種ｶﾗｰﾍﾞｰｽの塗装仕様に準じ、<br>十分にｾｯﾃｨﾝｸﾞを取ること | |
| 3 | 調合 | 塗料調合　重量比<br>ﾎﾟﾘｳﾚｱｸﾘﾔｰNB　100<br>ﾎﾟﾘｳﾚｱｸﾘﾔｰNBﾊｰﾄﾞﾅｰ　50<br><br>可使時間<br>10℃→35分<br>20℃→30分<br>30℃→25分 | ◆ｼﾝﾅｰ希釈をする場合は、<br>ｳﾚﾀﾝｴｺﾞﾚﾝﾀﾞｰ(10～30)を<br>使用すること<br>◆希釈割合は、主剤＋ﾊｰﾄﾞﾅｰの<br>総量に対して5%以内とする<br>こと |
| 4 | 塗装 | ｸﾘﾔｰ塗装　塗装回数　1.5回<br><br>ｺｰﾄ間ｾｯﾃｨﾝｸﾞﾀｲﾑ:0～1分<br>(気温が低い場合は、ｺｰﾄ間ｾｯﾃｨﾝｸﾞを<br>1分程度取ること) | ◆1回目はｾﾐｳｪｯﾄｺｰﾄ、<br>2回目はｳｪｯﾄｺｰﾄで仕上げる<br>◆推奨膜厚:35～50μm/DRY<br>◆ｺｰﾄ間ｾｯﾃｨﾝｸﾞﾀｲﾑが長すぎると<br>仕上がり外観が低下する場合<br>があります |
| 5 | 乾燥 | **常温乾燥:23℃×40～50分・湿度60%**<br>または、強制乾燥する場合は<br>23℃×5分のｾｯﾃｨﾝｸﾞﾀｲﾑを取った後、<br>**強制乾燥:60℃×10分** | ◆乾燥時間は、気温や湿度に<br>より変化する<br>◆10℃以下の場合は、強制乾燥<br>を行うこと |
| 6 | ﾎﾟﾘｯｼﾝｸﾞ | 各種ﾎﾟﾘｯｼﾝｸﾞｼｽﾃﾑ参照<br>◆MIRKAﾎﾟﾘｯｼﾝｸﾞｼｽﾃﾑ | ◆濃色でのﾌﾞﾂ・ｺﾞﾐ取り及び<br>肌調整の場合、P2000→P3000<br>→P5000ﾍﾟｰﾊﾟｰを推奨 |

※上記仕様でPPﾊﾞﾝﾊﾟｰも塗装可能です

ｽﾌﾟﾚｰｶﾞﾝ設定 (SATA jet X5500RP)

| 口径 | ｴｱｰ圧 | 吐出量 | ｶﾞﾝ距離 | ﾊﾟﾀｰﾝ重ね | 運行速度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1.3mm | 0.18～0.20MPa | 2～2.5回転開 | 15～20cm | 2/3～3/4 | 50cm/秒 |

ﾊｰﾄﾞﾅｰの選定

| | 5℃ | 10℃ | 15℃ | 20℃ | 25℃ | 30℃ | 35℃ | 40℃ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ﾊｰﾄﾞﾅｰ速乾 | | | | | | | | |
| ﾊｰﾄﾞﾅｰ | | | | | | | | |
| ﾊｰﾄﾞﾅｰ遅乾 | | | | | | | | |

※ハードナー遅乾は2025年5月以降発売予定

TECHNICAL INFORMATION

# POLYUREA CLEAR NB　ポリウレアクリヤーNB

初版：2024/10/1
改訂：

## ◆注意事項

・主剤は開封後1か月以内に使い切ってください。
・各塗料のｶﾗｰﾍﾞｰｽには必ず強化剤・ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ剤を5%加えてください。
・当製品は固形分の高い特殊樹脂を使用しているため、ﾌﾞﾛｯｸ塗装を基本とします。
・可使時間が短いため、塗装後は速やかにｽﾌﾟﾚｰｶﾞﾝを洗浄してください。
・乾燥時間は、温度や湿度によって変化します。
　低湿度の場合は乾燥が遅くなり、高湿度の場合は乾燥が早くなります。
　低温の場合は乾燥が遅くなり、高温の場合は乾燥が早くなります。
・雰囲気温度10℃以下の場合は、加熱乾燥を行ってください。

## ◆共通事項

■作業上の注意点
1.塗料・スプレーミストを皮ふや粘膜に付着させない。
　●作業着・手袋・フード付帽子などで、皮ふなどに直接付着しないように保護してください。
　●保護メガネを必ずかけてください。眼に飛沫が入った時は、すぐに大量の水で洗い流し、
　　ただちに専門医の手当を受けてください。
2.スプレーミストを吸い込まない。
　塗装の際、国家検定に合格した防毒マスク・送気マスクを必ず着用してください。
■イソシアネートの毒性について
1.スプレーミストの吸入による中毒症状
　軽症：不快感・頭痛・咳　　中症：喉頭炎と同じ様な症状
　重症：ぜんそく状の気管支ケイレンを伴う発作
2.皮ふに触れた場合の炎症
　塗料・スプレーミストが直接皮ふに触れると、赤くはれるなどの炎症を起こす場合があります。
3.一度中毒症状になると再発しやすい
　一度中毒・炎症を起こしたりすると、過敏になり再発しやすくなる傾向があるので
　注意してください。気管支炎になりやすいなど呼吸器系が敏感な人や既往症の
　ある人、皮ふカブレの出やすい人、アレルギー体質の人は、作業には従事しないでください。
■容器のふたを必ず閉める
1.硬化剤：硬化剤は空気の湿気・水分と反応するので、使用時以外は必ず密栓し、
　湿気・水分との接触を避けてください。
2.主剤：主剤は使用時以外は必ず密栓し、溶剤の揮散を避けてください。
※取扱いに際しては、安全データシート(SDS)に従ってください。